



MBニュース



【新物ザーサイ原料情報】

丸松物産株式会社

今年の新物ザーサイの栽培面積は昨年並みで、収穫量も昨年並みとの情報が仕入れ先よりありました。昨年とは違い中国国内での需要も減退しており、ヒネ物在庫が欠品状態になると言う状況は無いようです。また輸出用原料よりも過剰に成長させ、規格に適さない原料を収穫すると言う事態も無く今年の生鮮原料は比較的安定している模様です。

現時点での原料価格は、中国国内の金利が高い為、また工場の保管スペースにも限りがある事から、各加工工場で原料購入を控えた結果、昨年より若干安くなっております。

しかし生産コストの50%以上を占める人件費は毎年10%上昇し、国内輸送費、副材料費等の上昇もあり、昨年より数パーセント値上げになる可能性があるとの報告がありました。

新物は漬け込みが完了した6月から生産、出荷されますが、弊社が契約する中国工場にヒネ物在庫がある為、仕入れ価格は当面維持できる見込みでおります。

弊社と致しましては、今後とも引き続き産地情報を収集しながら、より安定した供給を目指して努力する所存でおります。

【ザーサイについて】

ザーサイの収穫は12月から2月まで行われ、3月から整形しながらコンクリートでできた大型の水槽で塩漬けを行い、1カ月毎にザーサイを攪拌する。6月になると塩分が均一になり、生産、出荷できる。年間の総生産量は年平均10万トンと言われ、中国国内での消費が90%、輸出は10%で輸出先は東南アジア、台湾、韓国、日本で、日本には僅か3%前後しか輸出されていないと言われております。



【今年の消費市場は穏やかにスタート・農産品価格低下情報】

商務部(商務省)の沈丹報道官は17日に行われた同部の定例記者会見で、今年1~2月の市場の運営状況と特徴を説明した。それによると、2015年の消費市場は穏やかにスタートし、1~2月の社会消費財小売総額は前年同期比10.7%増加した。同時に、市場では消費価格が基本的に安定し、同部がモニタリングする大・中36都市の食用農産品価格は同1.5%低下したという。中国経済網が伝えた。

沈報道官は「2015年最初の2カ月間、国内消費市場の運営状況は全体として安定をみせた。同期の社会消費小売総額は4兆8千億元(1元は約19.5円)で同10.7%増加し、物価上昇要因を考慮した実質増加率は11.0%となり、前年比で0.1ポイント、前年同期比で0.2ポイント、それぞれ上昇した。商務部のモニタリングでは、1~2月の重点小売企業5千社の売上高は同4.7%増加し増加率は、前年同期を0.7ポイント下回った。全体としてみると、2015年の消費市場の主な特徴として、新業態の伸びが力強さを維持している事、商品消費の新たな注目点が次々に現れていること大衆化したサービス消費の温度が上昇を続けていること、消費価格が基本的に安定していること、などが挙げられる」と述べた。(編集KS)

「人民網日本語版」2015年3月18日より抜粋

【夏向け商品情報】

	商品名	梅なめ茸 1kg/6×2	
	商品説明	発売当初からのヒット商品で、えのき茸を梅味でサッパリと仕上げた商品です。夏向けメニューでうどん・そばに絡めて、お豆腐のトッピングとして、ご飯にかけても美味しく頂け、色々なアレンジができる万能商品となっております。	
	主要原材料	えのき茸、梅肉、かつお削りぶし	
	賞味期限	製造日より4カ月	
	使用上の注意	開封後は10℃以下に冷蔵して、5日以内にお召し上がりください。	